

令和 8 年度 県立勝田工業高等学校自己評価表

目指す学校像	教育活動全体を通して、心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成を図る。また、ものづくり教育を通して、グローバルな視点を持ち対応できる創造力を備え、地域や産業社会に誇りと愛着を持ち貢献できる生徒、自らの将来像を明確にイメージし、その実現のために具体的に行動できる生徒の育成を目指す。		
三つの方針	具体的目標		
「三つの方針」 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	①心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒。②グローバルな視点を持ち対応できる創造力を備え、地域や産業社会に誇りと愛着を持ち貢献できる生徒。③自らの将来像を明確にイメージし、その実現のために具体的に行動できる生徒。	
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	①地域との連携を図り、活力に満ちた工業高校づくりを目指すとともに、自ら課題を見つけ、自ら行動できる態度の育成。②基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自らの興味・関心・進路希望による科目選択学習を充実させ、個性を伸ばす教育の実践。③安全教育を実践し、安全で安心できる学校生活を実現するとともに、他人を思いやる豊かな心の育成。④ スポーツを奨励し、体力の向上と不屈の精神の錬磨に努める。	
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	①ものづくりや工業的な分野に興味を持ち、深く探究しようという強い意欲のある生徒。②部活動を頑張り、3年間活動し心身を鍛錬し人間性をたかめられる生徒。③自分の進路実現を目指し、日々努力する生徒。④学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、学校行事、生徒会活動、部活動などに積極的に取り組む意欲のある生徒。	
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度本校総合工学科卒業生約80%が就職(内定率98%)、20%が進学している。 大学等進学者が39人。 生徒の問題行動による指導件数が少ない。 頭髪服装指導における協力体制は維持されている。 学校行事における生徒会活動は活発であり、部活動加入率も50%程であり、運動部・文化部共に活発に活動している。関東大会や全国大会に多数出場した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と授業や学習への取組の充実及び個々の生徒の専門性を高める指導体制の確立及び定着化が必要である。 体系的なキャリア教育を推進し、生徒一人一人が希望する進路の実現を目指す指導の更なる 	個々の希望を実現するキャリア教育の推進	①地元企業等との連携事業や企業体験学習を拡大・充実させ、確かな学力(生きる力)を身に付けさせ主体的な進路選択ができるようにする。 ②大学等との連携事業、大学の出前授業、自校での進学補講等の充実を図り、希望する大学への合格を目指す。 ③段階を追ったキャリア教育を行うため、キャリア・パスポートの活用を通し勤労観や職業観の育成を図り、就職希望者の内定率100%進学希望者の合格率100%達成を目指す。	
	個性を生かしながら伸ばす充実した教育の実現	④単位制総合工学科として適切な教育課程の研究と実践に努め、授業規律の確立と基礎学力の定着に努めながら、個々の生徒の専門性の深化を目指す。 ⑤基礎資格の合格率アップを目指すとともに、電気工事士や技能検定等の高度な資格取得への挑戦者と合格者を増加させ、ジュニアマイスター取得30名を目指す。 ⑥言語活動の充実を通して、コミュニケーション能力を高め、グローバル化した社会に対応できる人材を育成する。	
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進	⑦主体的・対話的で深い学びの授業を目指し研究授業や、相互授業参観による授業改善を行う。 ⑧ICTを利用したわかる授業を目指した授業改善を行う。 ⑨生徒による授業アンケートで、「授業満足度」80%を目指す。	

別紙様式 2 (高)

<p>充実が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校の際や校外における問題行動の未然防止に努め、生徒理解を踏まえた規範意識を育む指導を実践していく必要がある。 ・資格指導・ものづくり講習会は活発に行われた。 ・広報活動は積極的に行ったが、令和 8 年度入学者選抜において一般入学の志願倍率 0.48 倍となった。本校性の活躍・学校の特色が伝わる広報活動の方法について検討が必要である。 	<p>根幹となる豊かな心の育成と安全教育の推進</p>	<p>⑩基本的な生活習慣を確立させ、規範意識の醸成と問題行動の未然防止を図る。</p> <p>⑪施設設備の点検と安全教育を充実させ、学校事故撲滅を目指す。</p> <p>⑫ホームルーム活動の活性化と、学校教育全体を通じた道徳教育の推進及び、ボランティア活動の充実を図り、いじめ問題等の未然防止に努める。</p>	
	<p>部活動・特別活動の更なる活性化と主体性の育成</p>	<p>⑬部活動への積極的参加を奨励するとともに、生徒の自主的活動の活発化と学校行事への主体的な参加を促す。</p> <p>⑭特別活動の充実を図り、学校行事等を通して自発的・自治的な態度の育成に努める。</p>	
	<p>学校内外への充実した広報活動の推進</p>	<p>⑮開かれた学校づくりを目指し、中学校への出前授業や公開授業を実施するとともに、学校のホームページを通して地域や保護者・中学校等へ情報を発信することで、本校の特長をアピールする。</p> <p>⑯PTA 行事等の保護者への周知を図り、参加を促すことにより PTA 活動の活性化を図る。</p>	
	<p>教職員相互に業務内容の改善と平準化に取り組み、時間外勤務縮減に向けた意識改革と行動改革の推進</p>	<p>⑰各校務分掌に業務内容の重複を点検と整理に努め、教職員の在校時間の適切把握と健康管理を推進する。</p> <p>⑱業務内容改善のために、指導の質の維持・向上を図りつつ継承、整理・統合、精選等を検討する。</p> <p>⑲授業準備や自己研鑽の時間を確保し、より質の高い授業や個に応じた指導を行うため、地域や保護者に理解を得ながら、学校や教員が担う業務を整理し、ICT の有効活用により、学校の実態に即した情報の共有化や会議の効率化等に努める。</p> <p>⑳茨城県の部活動運営方針及び本校の部活動等に係る活動方針により、実施環境を構築する。</p>	